広報五城目

発行所 秋田県五城目町役場 編集 総務課
（電話 五城目 501番～505番）
印刷所 小浜印刷所 （電話 6058番 （一部五円）

涼を求めて

水銀柱がうなぎのぼりにあがる季節です。濃緑の原始林、巨岩をぬう清流。手近な避暑地として快適です。

（馬場目川上流）

産業別就労人口世帯数調（昭和40年調）

		人口	就業者
総数		1,040	3,765
第一次産業	農業	4,240	1,432
	林産業	394	172
	水産業	1	0
第二次産業	鉱業	11	6
	建設業	657	295
	製造業	1,097	480
第三次産業	卸売・小売業	1,022	350
	金融・保険不動産	86	32
	電気・ガス・水道業	22	12
	サービス業	860	318
	運輸通信業	360	155
	公務	260	132
	その他	6	2

（人口は15歳以上）

五小は山の手に単独校舎

統合小は見合わせる

町議会臨時会は七月十六日午前十時役場に招集され、町立学校条例関係二議案を審議し、原案どおり可決して同日午後八時三十分閉会しました。

統合小問題を解決するため、七月十一日町議会代表の議員十三人で構成された委員会（委員長栗山銀之助氏）が、五小P・T・A、馬川学区住民、町教育委員会の三者から意見を聞いて事態収拾に当っておりましたが十二日夜「統合を取止め、五城目小と馬川小を復活する」…ということで意見の一致を見、両者間で五項目にのぼる「覚え書き」がかわされました。

町では、この取り決めを尊重し、来る二月に議決した「五城目小と馬川小を統合し五城目小とする」…を改め、馬川小を独立する条例一部改正と、統合小建設特別会計条例の一部改正の二議案を上程し原案どおり可決しました。

▼議案のあらまし

二月の町議会臨時会で議決したのは、五城目小と馬川小を統合し「町立五城目小学校」とし建設地を「羽黒前二六の二…山の手山添地区…」にするというのを、「町立五城目小学校を羽黒前二六の二に、馬川小を高崎字前田八一一」に改められ、結局五城目小は山の手山添地区に単独で建設、馬川小は現在地に独立校として存置されることになりました。

統合小問題の経過

五城目小学校と馬川小学校を統合し、山の手山添地区に建てるための条例の一部改正並びに敷地取得については、ことしの二月十八日開かれた町議会臨時会で議決され、直ちに国に対して認定申請を行なった結果、六月十五日付で国庫負担金の決定をうけました。

一方、事業の早期着工をはかるため、三九・六六九㎡の敷地買収を完了し、七月八日ブルドーザー二台による整地作業を開始したのでありますが、馬川学区住民の強い反対に会い、警察官出動という殺伐事態になってしまいました。

町では一時作業を中止し、七月十一、十二の両日議会全員協議会を開き、事態収拾のために五地区から委員を選出し、十三人をもって委員会（委員長栗山銀之助氏）を設けました。委員会では町執行部を交え、十二日午前十時から五城目小学校PTA代表、町教育委員会、馬川小学校学区代表の順に、別個に意見を聞き、事態収拾策として二校統合を止し、馬川小を独立するという五項目の「覚書」を提案馬川小学区代表もこれを了解して約五か月にわたるこの問題が解決されました。

覚え書きの内容は①現況は統合に反対である②条例を改正して、もとの二校にもどす③五城目小学校は危険校舎なので単独で建ててもよし、修理してもよい・場所は問題でない④全町の小学校統合計画（対象校は馬川内川、大川、馬場目及び富津内西）は町教育委員会で関係者の意見を聞き、立案したものを議決した場合は統合に賛成する⑤前項のために補助、起債は確保できるようその処置は町長に一任する…というものであります。

町では七月十六日議会臨時会を招集し、十三人委員会と馬川小学区代表と更に取り交わした覚え書きを尊重し、二月に議決した統合小関係の条例一部改正案を提案し、満場一致で原案どおり可決したのであります。

従って、危険校舎である五城目小学校は、単独当初計画のとおり山の手山添地区に建築し、馬川小学校はいままでどおり独立校舎として存置することになったのであります。

竣工近い公営住宅

昭和四十一年度分の公営住宅十二戸を、岩野野球場跡に建設していますが、長雨などの関係で全部のできあがり予定より少し遅れます。従って、入居者の募集は八月下旬頃になるようです。

（写真 おおかた出来上った公営住宅）

四十年度国民年金の表彰

昭和四十年度の国民年金後良納付組合と個人の表彰式は、七月二十九日役場第一会議室で行なわれました。表彰を受けたのは次のとおりです。（敬称略）

▽全戸加入五か年連続完納 高崎 上樋口上、下、浦横町第二 帝釈寺 富田第一八幡前

▽個人 猿田源吉（上樋口）全期間前納▽組合長 田町農業班 斎藤長吉 畑町第四貝田松之助

▽完納組右▽四か年連続田町農業班、畑町有志、畑町第四同第五 上高崎 久保 館越樋口 野田有志 浦横町 長町浅見内 第一 黒土 大川大川 下樋口 第二同第三同第四 四ツ屋 西野第二同第三同第四 四ツ屋 西五▽一か年 新丁有志ほか十三

▽……△

カロチン

カロチンというのは、ほうれん草やにんじんなどにはいっている色素のことです。このカロチンは体内にはいるとビタミンAに変わります。

日本人はビタミンAを多く含む食品をとる量が少ないといわれています。とくに農村地帯の人たちは、町に住む人たちにくらべて、その量が少ないといわれます。

そこで、ほうれん草やにんじんのような黄緑野菜をたくさん食べると、このカロチンを補給できるということになります。

ところが、このカロチンは体内でたいへん吸収が悪いので、吸収をよくするためには、B12を含む油といっしょに食べるとよいそうですから、油いためにする調理法が理想的です。

なお、レバーには B12 がたくさん含まれておりますのでとくにおすすめします。また、にらとか小松菜にもこのカロチンが多量に含まれているそうです。

▽……△

子ども会リーダー講習会を西小で

昭和四十一年度の本町子ども会リーダー養成講習会を、八月六日（土曜）七日（日曜）の二日間、富津内西小学校で開きます。

講習会の目的は、子ども会の健全な発展をはかるため、リーダーとしての必要な知識と技術を二日間の生活舘験から得ようとすることで、百人の受講者を対象に行ないます。

指導者は秋田福祉事務所の伊藤実先生、また組別では A組が分銅吉朗、B組伊藤宗三、C組小玉正文、D組伊藤広子、E組北島慧代子の各先生方です。

また、学校別受講者は▽五城目小二十 ▽馬川小六 ▽馬場目小六 ▽富津内西小六 ▽同東小四▽内川小六▽大川小六▽杉沢小四……の五十八名。中学校では▽五一中二十▽馬場目中六▽富津内四▽内川中四▽大川中四▽杉沢中四……の四十二名あわせて百名です。

なお、この講習会は町育少年問題協議会が主催し、南秋河辺青少協、町社会福祉協、町民生児童委員協議会、町教育委員会が後援して行なわれます。

人権擁護委員に阿部徹英氏

このたび阿部徹英氏が人権擁護委員に委嘱されました。任務は人身売買とか、村八分或いは差別待遇をされた…など、人の権利を侵すようなことが起きた場合、無料で相談に応じ、その人の秘密を守り秘から事件の解決に当ってくれます。

阿部徹英（内川）

人権擁護委員を委嘱する

昭和四十一年六月十六日

法務大臣 石井光次郎

お知らせ

計量器（はかり）の検査

取り引きや証明などに使用している、計量器の定期検査を次の日程で行ないますから、必らず受けてください。

▷ 富津内地区 9月13日午前10時～12時 農協富津内支所で
▷ 内 川地区 9月13日午後1時～3時 農協内川支所で
▷ 馬場目地区 9月14日午前10時～12時 農協馬場目支所で
▷ 大 川地区 9月14日午後1時～3時 農協大川支所で
▷ 五城目地区 9月15・16日毎日午前10時～午後2時 中央公民館で

乳幼児の結核検診

零歳から5歳までの乳幼児の結核検診を、8月中旬に行なうことになっています。これは県がことしはじめて試みるもので県内数か町村の中に本町もはいっております。該当するお子さんには通知を差し上げますから必ず受けてください。

⊙ 踊の練習

8月8日（月）午前10時より五城目小学校において、全町体育祭のマスゲームと盆踊りを練習します。昼食は各自持参してください。

⊙ 馬場目岳登山

8月21日（日）馬場目岳登山（ハイキング）三階の滝までおこないますので、参加希望者は8月18日までに中央公民館あてお申し込みください。

⊙ 全町体育祭

9月4日 延期されておりました全町体育祭を五城目第一中学校グランドにおいて行ないます。内容は6月に各町内部落長あて連絡した通りです。

広報サロン

夏の思い出

暑さの夏に、より暑い東京の予備校に明春の大学入試に備えて全国からはせ参じて、ひしめき合って受験講習を受けている生徒、まさにこの世の灼熱地獄である。

しかし本人にとっては、はたで見る程苦痛ではない。それは将来はっきりした大望を抱いているからだ。楽しい夢をえがいているからだ。黙々と学習に精魂を打込んで疲れ切る生活、それこそ最も充実した生活である。

（K）

学校はいよいよ暑中休暇

である。児童、生徒にとっては身心共に解放され、一年中で最も楽しい時でそれぞれ休中の生活プランを立て、待ちかねておったことであろう。

小、中、高校いずれにしても平素できないことをこの機会にやってみようという意欲をもって長休みはいる。

楽しかるべき夏休みを楽しくすごすためにも水泳事故には本人も親たちも十分心してもらいたい。去年も富津内西小に転落溺死という悲しい事故があった。

中、高校の体育関係の大会が郡市予選を皮切りに次ぎから次ぎへと開かれる。

運動選手にとっては暑さも寒さもない。高校入試は三科目に限定されたが、その為に補習教育が減り、生徒の負担が軽くなれば幸いだが、現実は果してどうか、決して安心しておれない。

暑さの夏に、より暑い東京の予備校に明春の大学入試に備えて全国からはせ参じて、ひしめき合って受験講習を受けている生徒、まさにこの世の灼熱地獄である。

しかし本人にとっては、はたで見る程苦痛ではない。それは将来はっきりした大望を抱いているからだ。楽しい夢をえがいているからだ。黙々と学習に精魂を打込んで疲れ切る生活、それこそ最も充実した生活である。

（K）

新しい農業委員決まる

選挙17人 推薦5人

任期満了による農業委員の選挙は、全地区とも無競争に終わり、七月十六日の選挙で次の方々が当選と決まりました。

【選挙委員】 敬称略

▼第三選挙区（大川、面潟）○佐々木啓蔵(60)岡本 現○鳴崎喜一郎(60)大川 現○佐藤久米蔵(60)西野 現○加藤吾之丞(60)石崎 新

【推薦委員】町長選任委員は次の方々です。（敬称略）

▼議会推薦○沢田石広治(60)湯沢 又○草皆貞介(60)帝釈寺○小野豊(60)野田▼農業共済推薦○小野義治(60)大川▼農協推薦○石井俊一(60)蔵下

▼第一選挙区（富津内、内川）○工藤鉄雄(60)浅見内 新○畠山正一(60)千日 新○伊藤多右ニ門(60)落合 現○安田鶴治(60)黒土 新○沢田重四郎(60)湯ノ又 現○伊藤勇(60)下山内 新

▼第二選挙区（五城目馬場目）○伊藤孝雄(60)町村 新○佐々木賢一郎(60)恋地 新○伊藤博(60)上樋口 新○武田新市(60)高崎 現○北嶋嘉一(60)柴地町 新○金野勇(60)平ノ下 新○金沢弘治(60)合地 現

本町の農近ゼミ

小畑知事の表彰

七月十九日県民会館で行なわれた、第二回秋田県ゼミナール大会で、本町の農業近代化ゼミナールが、ゃ学級活動を通じて農村の生活改善を推進したゃ功績により、小畑秋田県知事から表彰されました。

全町火災予防組合結成

火災予防組合は各町内、部落ごとに結成されていますが、七月一八日中央公民館で組合長会を開き、連合体としての「五城目町火災予防組合」を結成することにしました。役員は次の方々です。（敬称略）

▼組合長 北嶋誠一▼副組合長 石井俊一 田仲喜治▼理事 安東誠 伊藤原五郎 畠山敬司 工藤孝二 伊藤孝一郎 館岡正夫 小野一郎▼監事 佐藤久米蔵 石井勝雄

▼本年度の実施本項

(イ)未結成町内部落の解消(ロ)初期防火に備えて家庭消火器の整備(ハ)防火診断の実施：など。

東北高校レスリング

八戸工が二連勝

第五回高松宮杯、第十二回東北高校スリング大会は、二十三、二十四の二日間、五一中体育館で開かれ、学校対抗では八戸工業が二連勝。五城目高校は善戦しましたが五位にとどまりました。決勝リーグの成績は次のとおりです。

▽52kg級①石田（秋商）③菅原広志（五高）③星（仙台）▽55kg級①中野（八戸工）③三浦（山形商）③鷲見（経大付）▽58kg級①藤田（八戸工）③鍾田（経大付）③鈴木（仙台）▽61kg級①斎藤（仙青）③曽根田（山形商）③杉山（経大付）65kg級①布施（秋田工）③桜井（山形商）③吉田（八戸工）69kg級①出河（八戸工）③小玉優（五高）③鈴木（経大付）73kg級①桜井（仙青）③斎藤（秋田工）③吉田（八戸工）73kg以上級①佐藤（山形商）③小玉誠孝（五高）③菅原（秋田工）

▼学校別成績

①八戸工17点③山形商11点③仙台育英10点④秋田工10点⑤五城目高9点⑥経大付6点⑦秋田商5点⑧山形南3点⑨仙台1点。

田島、宮古、八戸電工、十和田秋田の五校は無得点でした。

（写真 盛大な開会式）

今月の納税は、町民税の二期です。期限までにお納めください。

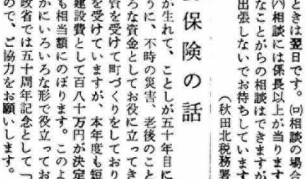
教育委員長に畑沢実氏

伊藤一氏死去により欠員となっていた町教育委員会委員は七月十五日の委員会で互選の結果、畑沢実氏が選ばれ、職務代行者には北島良蔵氏が決まりました。

五一中創立20周年式典

五城第一中学校では、創立二十周年を記念して、八月二十四日から三日間、五一中と五小城目近辺でも一番雨乞いのさかんなところであった。西乞いにはいろいろな方法がある。そのうち奇抜なものを二、三紹介したい思っている。昔から山内ではいよいよ雨がふらないとなると、この馬頭神の石のご神体をかつぎ出して、中津又の川の淵に沈めて祈るのである。そうすると忽ちに雲をよび、風をよんで雨をふらすと信じられていた。そうした信仰も今は全く消え失せて、馬頭神の周囲はますます荒れはてて、その小径らさだかでない。四十年前までは二つの馬頭神から奥の八幡宮ではていて、と松並木がそびえ何十という鳥居が立ちならんで旧八月十五日の祭例には山内全戸からあげられたノボリが、何十本と沿道にはためいたという。

（郷土史研究家）



（写真 山内の相染さま）

五小通学道路

中田建設で

山の手小山添地区に建設する五城小学校の通学道路は、七月二十九日指名競争入札の結果、中田建設に落札しました。延長三六〇・九五メートル、三メ・三メ・九五メートル六・三メ・三メ・工費四百万円。七月三十日から着工し、八月二十五日竣工の予定です。

北海道物産展95万円の売上

ことしの北海道物産展は六月二十八日から六日間札幌で、七月十二日から六日間函館でそれぞれ開催され、大きな成果を収めました。

本町からは札幌会場へ家具、桶類、打刃物など五百五十九点出品、その売り上げは五百五十九万円に達しました。函館会場へは家具、桶類、打刃物など五百十九点の出品で、売り上げは約四十万円となっています。

なお、木製品、打刃物などの商取引きも相当額にのぼり、本町物産の北海道進出は、年々上昇線をたどっております。

休み中の事故防止を中心に

夏の総合防犯運動

この防犯運動は暴力と迷惑行為の追放、ならびに夏季休校中における少年の非行防止あわせて夏季に多発を予想される性的犯罪や、各種傷犯および水死事故等を防止するため、警察と防犯組合が中心となって、強力に運動を進めております。

みなさんも自分の家は自分で守るというお気持で「防犯」に協力してください。

◎みんなの力で少年の非行化を防ぎましょう。

○明るい家庭の環境

○明るい社会の環境

少年達の非行を防止するためには、町民のみなさん一人一人の協力が必要です。

◎幼い子どもの命を水魔から守りましょう。

○水浴びの季節です。

○危険な遊び場にいる子どもには、十分注意してください。

○軽率な態度や油断は禁物

「送り狼に注意」見知らぬ男性から声をかけられたり、車に乗るようにすすめられても安易に応じない。

◎夏の迷惑行為を追放しよう

○道路・公園・駅、愛り物などで、婦人にみだらなことをいったりすること

○盆踊り大会に見物人に粗暴な言動をはいたりすること

不安を与えたりすることこのような迷惑行為をした者は、六ヶ月以下の懲役または五万円以下の罰金に処せられます。

見た 聞いた やられた!!

すぐ警察へ！

五城目 警察署

五城目町防犯組合

いつの時代でも水遊びは、子ども達にとって天国です。それだけに水の犠牲は、その多くが子ども達で占められています。

◎夜道の女性のひとり歩きは危険!!

夏に多い性犯罪を防ぎましょう。

○つれだって明るい道を

性犯罪は路上での被害が一番多いようです。

○酒の飲みすぎは禁物

○「送り狼に注意」見知らぬ男性から声をかけられたり、車に乗るようにすすめられても安易に応じない。

◎夏の迷惑行為を追放しよう

○道路・公園・駅、愛り物などで、婦人にみだらなことをいったりすること

○盆踊り大会に見物人に粗暴な言動をはいたりすること

暴な言動をはいたりすること

不安を与えたりすることこのような迷惑行為をした者は、六ヶ月以下の懲役または五万円以下の罰金に処せられます。

見た 聞いた やられた!!

すぐ警察へ！

五城目 警察署

五城目町防犯組合

毎月五の日税の相談日

だれでも税金のことについていろいろな疑問や苦悩をもっていると思います。また、知らないでいて損をする場合もあります。こうしたことのために税務署では毎月五の日に「税の相談日」を開設しますから、皆さんの積極的なご利用を望みます。

(イ)相談日は、毎月五日、十五日、二十五日です。ただし、その日が日曜、祭日のときは翌日です。(ロ)相談の場合は名前をいわなくても結構です。(ハ)相談には係長以上が担当します。(ニ)五の日の相談日以外でも必ず要なことがらの相談はできますが、特に五の日は係長以上の職員が出張しないでお待ちしていますので、十分な相談ができます。

（秋田北税務署総務課長）

簡易保険の話

簡易保険制度が生れて、ことしが五十年目に当ります。簡易保険は乙家知の家族が生れ、不時の災害、老後のこと、子供の教育、結婚など、いろいろな資金として役立ってきました。また、自治体の方々にも、この簡易保険を利用して、五城目町でも以前からこの融資を受けていますが、本年度も短期融資として三千万円、公営住宅建設費として百八十万円が決定しており、そのほか教育資金の融資も相当額にのぼります。このように簡易保険はわたしどもの身近かにいろいろな形で役立っております。

なお、郵政省では五十周年記念として「新規加入運動」を展開いたしますので、ご協力をお願いします。（五城目郵便局）

史跡めぐり

広ケ野の馬頭神（相染さん）

分銅志静

五城目一中のグランドのあたりから東北にこんもりとした林の中に、一本だけとびぬけて柄の長い番傘のように立っている赤松がある。それをひとしきに深い草原を分けて行くと、そのひょろ長い松の木の下には杉の木が四本、他に松が二本、桜が二本、計七本の樹が、一つどころに根をからみあわせている。恰度一つの大きな根から七本の幹がわかれているみたいである。

こんなのも珍しいが、その異様な木々のしげりはいかにも神のやどりそうな感じである。山内の馬頭神はその木立の下にひっそりとしずまっている。昔は野ざらしだったというが、今はそまつなサヤ堂が立っている。中には馬頭神と彫った自然石がいくつか重なり合っている。

馬頭神とは馬頭観世音のことで、そうぜんさまと称して、どこの村でもこの部落でもまつっている。この馬頭観世音はお顔が恐しい怒相をしていて、頭の上に馬頭をあらわしている。やさしい観音様の中で恐しい顔をしてにらみつけているのはこの馬頭尊ぐらいのものである。いろいろ種類があって手が四本のものも八本のものもある。中には顔が三つついている馬頭尊もある。この観世音様にはたん食専念、迅速の三感感のあり、馬がよく水をのみ草はむように衆生の生老病死の苦しみをのみこんでくれるという。六道観音の中では畜生道を救うのこの観音様の役目で、農家に馬の多かった時代には、この馬頭神に牛馬の無事息災を祈り、また可愛い子馬が死ぬと、馬が成仏するように馬頭神をまつったのである。従って昔はこの馬頭神信仰がなかなかさかんで、とくに五月の節句には今村の馬が列をなしてこの馬頭神におまいりしたものである。その時にはお神酒をこの野ざらしの馬頭神の碑の上にそそぎ、残りは持ちかえって飼馬の頭にふりそそいだということである。そうした風習はどこの馬頭神でも同じだったと思うが、この広ケ野の馬頭神には馬の守護神という役目のほかに、雨乞いの霊験がつたえられている。

山内一帯は昔から水の便の悪いところで、日照りがつづくとすぐに田地が干ちがるので、五